

**平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第2回市民・文化部会議事録**

1 日時：平成27年5月28日（木） 13：30～17：00

2 場所：千葉市議会棟 3階 第2説明員控室

3 出席者：

(1) 委員

稲垣 總一郎委員（部会長）、潮来 克士委員（副部会長）、鏡 諭委員、
金子 林太郎委員、早川 恒雄委員

(2) 事務局

原市民自治推進部長、丸島生活文化スポーツ部長
山根市民総務課長、佐久間市民総務課長補佐、宮本主査、石垣主事、山本主事
濱野地域安全課長、山本地域安全課長補佐、山下主任主事
布施文化振興課長、渡邊主査、工藤主任主事
三浦若葉区地域振興課地域づくり支援室長、近藤主査、高柳主任主事

4 議題：

(1) 平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について

ア 千葉市文化施設等について

(ア) 千葉市文化施設（千葉市民会館、千葉市文化センター、千葉市若葉文化ホール、
千葉市美浜文化ホール）

(イ) 千葉市若葉区千城台コミュニティセンター

イ 千葉市路外駐車場について

(2) その他

5 議事概要：

(1) 平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について

ア 千葉市文化施設等について

(ア) 千葉市文化施設（千葉市民会館、千葉市文化センター、千葉市若葉文化ホール、
千葉市美浜文化ホール）

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。

(イ) 千葉市若葉区千城台コミュニティセンター

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。

イ 千葉市路外駐車場について

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。

(2) その他

今後の予定について、事務局から説明した。

6 会議経過：

○佐久間市民総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

定刻となりましたので、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第2回市民・文化部会を開会いたします。

私は、本日、司会を務めさせていただきます市民総務課の佐久間でございます。よろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づきまして、公開されております。ただし、一部非公開の部分がございまして、あらかじめご承知おきください。なお、現在のところ傍聴人の方はいらっしゃっておりません。

本日は、地球温暖化防止対策の一環といたしまして、職員は軽装とさせていただきますので、ご了承ください。

続きまして、委員の方のご紹介でございますが、恐れ入りますが、前回の部会から変更はございませんので、お手元のファイル、資料2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会市民・文化部会 委員名簿」をもちまして、ご紹介にかえさせていただきます。

続きまして、事務局の職員につきまして紹介いたします。

生活文化スポーツ部長の丸島でございます。

千葉市文化施設を所管します文化振興課長の布施でございます。

千葉市若葉区千城台コミュニティセンターを所管します若葉区地域振興課地域づくり支援室長の三浦でございます。

市民総務課長の山根でございます。以上でございます。

それでは、開会に当たりまして、生活文化スポーツ部長の丸島からご挨拶を申し上げます。

○丸島生活文化スポーツ部長 皆様、大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。先週に引き続きまして、第2回の市民・文化部会でございます。

今回は、文化施設4施設と、それから、千城台コミュニティセンターと路外駐車場でご

ざいます。前回と同様に、昨年度の年度評価と、今期が指定管理者の最終年度となりますので、全体の評価ということで、続けてご審議をお願いしたいと思っています。

お暑い中、大変恐縮でございますが、よろしくお願いたします。

○佐久間市民総務課長補佐　それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、ファイルに綴じていない資料で、お手元に「次第」と「席次表」がございます。

続きまして、青いファイルの資料の確認です。お手元に資料一覧をお配りしておりますので、そちらに基づいて確認をさせていただきます。

まず、資料1が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第2回市民・文化部会進行表」。資料2が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会市民・文化部会 委員名簿」。資料3が「市民・文化部会で審議する公の施設一覧」。資料4は「千葉市文化施設」の平成26年度の評価に関する資料でございます。資料が4つございます。4-1が「指定管理者評価シート」、4-2が「事業計画書」、4-3が「事業報告書」、4-4が「計算書類等」でございます。こちらの年度評価に関する資料につきましては、これから申し上げます他の施設でも同様の資料となっております。資料5は、「千葉市文化施設」の総合評価に関するものでございます。資料が2種類ございまして、5-1が「総合評価資料」、5-2が「総合評価シート（案）」でございます。資料6は「千城台コミュニティセンター」の平成26年度評価に関する資料。資料7は「千城台コミュニティセンター」の総合評価に関するもの。資料8は「千葉市路外駐車場」の平成26年度評価に関する資料。資料9は「千葉市路外駐車場」の総合評価に関するもので、先ほどお話ししましたとおり、資料の内訳は「千葉市文化施設」と同一でございます。

資料6-4でございますが、本来であれば、「千城台コミュニティセンター」の指定管理者の計算書類等がございますが、こちらは、指定管理者が「千葉市文化施設」と同一であるため、重複しますので、添付は省略をしております。枝番号は、1から3の3種類の資料となっております。

なお、評価につきまして、「文化施設」と「千城台コミュニティセンター」につきましては、同一の指定管理者でございますが、施設の特性、管理の運営業務が異なることから、評価は2つに分けてお願いするものでございます。

続いて、参考資料でございます。参考資料1から3は、本日審議をお願いいたします各施設の平成23年～25年度までの「指定管理者評価シート」でございます。参考資料1が「千葉市文化施設」、参考資料2が「千城台コミュニティセンター」、参考資料3が「千葉市路外駐車場」でございます。参考資料4は「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、参考資料5は「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について（平成22年7月16日千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）」、参考資料6は「部会の設置について（平成24年7月24日千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）」でございます。

資料は以上でございます。不足等ございましたら、お申し出ください。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、会議の成立についてご報告させていただきます。本日は、全ての委員さんにご出席をいただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定

等に関する条例第11条第7項において準用いたします第10条第2項に基づきまして、会議は成立をいたしております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。これからの議事につきましては、進行を稲垣部会長さんをお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○稲垣部会長　それでは、次第に従いまして、議事を進行してまいります。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

議題1「平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について」に入らせていただきます。

それでは、まず、千葉市文化施設の年度評価について、ご審議いただきます。施設所管課より説明をお願いします。

○布施文化振興課長　文化振興課の布施でございます。よろしく願いいたします。お手元の資料4-1に沿いまして、ご説明をさせていただきます。

まず、「1 基本情報」の欄をご覧ください。今回評価いただく施設につきましては、施設が4つございます。千葉市民会館、千葉市文化センター、千葉市若葉文化ホール、千葉市美浜文化ホールの4施設となります。指定管理者でございますが、アートプレックスちば事業体でございます。こちらにつきましては、公益財団法人千葉市文化振興財団を代表といたします6団体から構成されています。続いて、指定期間でございますが、23年4月から28年3月までの5年間でございます。

では、続きまして、「2 管理運営の実績」になります。まず、「(1) 主な実施事業」でございます。「①指定管理事業」と「②自主事業」で分けてございますが、まず、「①指定管理事業」につきましては、「施設運營業務」、「維持管理業務」、「経営管理業務」の3本で構成をされております。続きまして、その下、「②自主事業」でございます。こちらにつきましては、「文化事業」としてコンサートなどの実施、それから「その他の業務」といたしまして、ホスピタリティ向上などが事業としてございます。

「(2) 利用状況」でございます。施設の利用状況につきましては、4館で見ますと、ご覧のとおりでございます。縦軸が、それぞれ館ごとになっておりまして、その右側から、26年度、25年度という形になっております。4館全体で見ますと、減少となっておりますが、若葉文化ホールを除きましては、どの施設につきましても、ほぼ横ばいとなっております。若葉文化ホールにつきましては、下の※印にございますように、平成26年11月1日から27年3月31日までの間、空調設備工事のため休館としておりました関係から、利用者減になっているものと考えているところでございます。めくっていただきまして、次が「②稼働率(回転率)」になります。まず、千葉市民会館でございます。こちらにつきましては、施設名が、縦軸ですが、「大ホール」、「小ホール」、「会議室」、「特別会議室」という形で整理してございます。横にいきますと、26年度、25年度、その次が対前年度比増減という形で書いてございます。それぞれマイナスでございますが、こちらにつきましては、市民会館の平成26年度実施する予定でございました発電機室の耐震工事があるということで、貸出し中止の措置をしていたところなのですが、工事が中止になったことから、年度途中より利用可能となりまして、受付期間が短くなったということもございまして例年どおりの利用が確保できなかったというようなことが背景としてございます。それから、文化センター、若葉文化ホールにつきましては、ほぼ例年どおり、横

ばいかなというふうに見ているところでございます。その下、美浜文化ホールでござい
ますが、こちらのほうが、ちょっと真ん中の26年度、25年度、その隣の対前年度比の増
減のところでございますが、特に、「メインホール」の下の「音楽ホール」が3.4%増、
それから、その下の一番下でございまして、「会議室」が2.5%の増となっております。
美浜文化ホールのほうは、前年度比で言いましても増加している傾向でございまして、他
の施設につきましては、ほぼ横ばいぐらいという感じでございます。したがって、特
に平日の利用促進、特に稼働率（回転率）につきましては、利用促進が今後の課題と認識
をしているところでございます。

では、3ページをお願いいたします。「(3) 収支状況」につきまして、「①収入実績」、
「②支出実績」はご覧のとおりでございます。まず、「①収入実績」につきましては、縦
軸で「指定管理委託料」、「利用料金」、「自主事業」、「その他」。右のほうに行きますと、
「決算額」、「計画額」、「計画比」となっております。まず、合計の欄をご覧いただきたい
のですが、決算額につきましては7億8,700万でございます。それに対しまして計画
額でございますが、8億1,600万というような状況でございます。「備考」欄に書いて
ございますように、「その他の計画比増は若葉文化ホールの工事休館の補填による」も
のということでございます。続きまして、「②支出実績」でございます。こちらのほう、
まず、縦のほうに行きますと、「人件費」、「事務費」、「管理費」、「自主事業」、「その他」、
「合計」でございます。それから、右に行きまして「決算額」、「計画額」でございます。
まず、支出実績の合計の決算額でございますが、7億7,900万でございます。それ
に対しまして、計画額が8億2,500万でございます。「備考」欄にありますように、事
務費の計画比増につきましては、光熱水費によります電気・ガス料金の値上げ等による影
響ではないかというふうに考えているところでございます。その下でございますが、「③
収支実績」でございます。決算額が723万7千円でございます。それに対しまして、計
画額は、マイナスで840万8千円ということで、その右側、対計画額増減といたしまし
ては、1,564万5千円という状況でございます。

こちら、少し具体的にご説明をさせていただきます。まず、計画事業でございますが、
当初見込みが赤字の840万8千円と見込んだところにつきましては、自主事業におきま
す赤字によるものでございまして、指定管理委託料といたしましては、収入及び支出が同
額という形で、事業計画を立てさせていただいたところでございます。それに対しまして、
26年度の実績におきましては、決算額が723万7千円という状況なのですが、まず、
指定管理事業の収支が1,996万5千円の黒字となっております。一方、自主事業の収
支でございますが、自主事業の収支が、マイナスで1,272万8千円となっております。
したがって、差引きが723万7千円の黒字となったものでございます。

まず、事業計画の収支と比べて決算額が黒字となっておりますのは、人件費と管理費
で削減を行った部分が計画額を下回ったということで、支出よりも収入が上回る結果とな
ったものでございます。特に、人件費につきましては、職員給与の昇給の見送りによる削
減が原因としてはございます。それから、管理費につきましては、各委託業務あるいはリ
ース契約等の見直しによる経費削減のほか、26年度につきましては、先ほどご説明しま
したように、若葉文化ホールが空調改修工事を行いました関係から、休館中の委託業務費
の削減、金額的には67万4千円になりますが、こちらのほうを削減したことによります

減があったことから、「③収支実績」につきましては、このような決算額と計画額となったものでございます。

では、続きまして、その下の「(4) 指定管理者が行った処分の件数」のところをお願いいたします。こちらにつきましては、各施設のそれぞれ使用許可の件数でございますが、「使用許可」の一番右側、件数のところをご覧ください。合計で7, 570件でございます。その下の「使用不許可」、「使用の制限」につきましては、いずれもゼロ件という状況でございます。続きまして、「(5) 市への不服申立て」につきましても、同じくゼロ件という状況でございます。

続きまして、「(6) 情報公開の状況」でございます。こちらのほうにつきましては、「関連文書の公開状況」については、ご覧のとおりでございますが、その下の「文書開示申出の状況」につきましては、市政情報室経由で2件ございました。まず、1つ目のほうが、千葉市文化施設等の指定管理者公募に係る提案書につきまして開示請求がありまして、部分開示を行ったものです。それから、もう1件、情報提供を行ったことでございますが、こちらにつきましては、市民会館の排煙設備修繕に関する起案書と金額入りの設計書の情報提供依頼がございまして、こちらにつきまして、情報提供を行ったものでございまして、合わせて2件となっております。

では、続きまして、4ページをお願いいたします。「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」でございます。まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」についてでございます。「回答者数」といたしましては、①にありますように、市民会館で217件、文化センターが80件、若葉文化ホールが136件、美浜文化ホールが177件の、合計610件でございます。「②調査の結果」につきましては、ご覧のとおりでございますので、主な部分をご説明をさせていただきますと、「⑥本日の施設満足度」のところをお願いいたします。まず、市民会館につきましては100点が21.2%、90点が30.4%、80点が24.0%ということで、合計75.6%の方から満足ということになっております。その他、文化センターにおきましても、同じく「⑥本日の施設満足度」につきまして、100点、90点、80点を足しますと、96.3%。それから、次のページになります、若葉文化ホールにつきましても、同じく「⑥本日の施設満足度」でございますが、100点、90点、80点までを足しますと、合計99.3%となっております。それから、その下の、最後になりますが、美浜文化ホールも100点、90点、80点を足しますと、93.7%ということになっております。いずれの場合につきましても、80点から100点と答えた合計の利用者の皆様の比率からは、かなり高い評価をいただいているのかなというふうに考えるところでございます。では、続いて、その下の「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」でございます。まず、上段の「記述回答」のところですが、市民会館が147件、文化センターが21件、若葉文化ホールが5件、美浜文化ホールが113件いただいております。一例といたしましては、そのすぐ下にありますように、「スタッフの対応が丁寧」、あるいはその下にありますように、「音楽ホールのピアノが良い」というような、スタッフの対応、あるいは音響という部分でご意見をいただいているところでございます。また、職員の対応等につきましては、できるだけ速やかに対応するような形で注意を払っているところでございます。では、続きまして、6ページ目、次のページになります。「(2) 市に寄せられた意見、苦情」でござ

います。こちらにつきましては、市民会館で1件でございます。これは、収集方法としては市長への手紙ということで、市民会館に対しまして1件のご意見を頂戴しております。その内容といいますのが、その下の「③主な意見、苦情とそれへの対応」という部分でございます。かいつまんで申し上げますと、市民会館において高齢の方が演劇を楽しんでいただくために、洋式トイレの増設をしてもらいたいというようなご要望でございます。これに対しまして、対応でございますが、市民会館におきましては、空調・排給水・防災関係など優先して修繕等の工事がございます、と。したがって、ご要望をいただいておりますことにつきましては、今すぐ対応することは困難でございます、というような回答でございます。ただ、市民会館の大ホールにおきましては、それぞれ上手、下手、ホワイエ等に合計8台の洋式トイレを設置しておりますので、そちらをご利用いただきたいというような旨のご回答をさせていただいているところでございます。

続きまして、その下の「4 指定管理者による自己評価」でございます。簡単に申し上げますと、事業計画に基づきまして、4館一括の管理のメリットということで、2行目でございますように、「メリットを生かした各館相互の施設予約、チケット販売」を実施したほか、3行目でございますように、「決済方法の多様化」が年々利用者の方々に浸透しているということで、利用件数を伸ばしているというような状況でございます。また、4行目になりますが、平成24年度から開始した顧客満足度調査を引き続き全館で実施をいたしまして、利用者の満足、不満足要素の把握と分析を行った上で、利用者ニーズや評価を施設運営、事業の実施に生かす取組みを継続的に実施したということでございます。それから、この欄のちょうど真ん中でございます。文化事業のところでは、「千葉県文化芸術振興計画」の施策に沿って、体験、参加型事業を重点的に実施したほか、下から5行目の右端ですが、青少年を対象とした演劇教室など、子どもたちが文化・芸術に触れる機会の充実を図ったということが自己評価ということでございます。

それから、続きまして、その下の「5 市による評価」でございます。右側のコメントのところでございます。まず、2行目の施設利用の状況につきましては、平成26年度の目標値には届かなかったものの利用者数は前年度比で94.2%と、ほぼ同等を確保したというような状況でございます。また、その3行下でございますが、利用者サービスということにおきましては、4館一括の指定管理のメリットを生かした4館相互利用の受付や利用料金の支払方法の多様化により、利用者の利便性を図り、通常のアンケートに加え、顧客満足度調査を実施し、細かいニーズ把握に努めている、と。それから、真ん中の段でございますが、自主事業におきましては、昨年度に引き続きまして、4館連携事業を行って、市民参加型の事業あるいは子どもたちが文化・芸術に触れる機会を創出するような事業も多く計画・実施されている、と。それから、各ホールごとで、それぞれ特性を生かした事業が展開されたということでございます。したがって、おおむね計画どおりできたということで申し上げてよろしいかなということで、評価といたしましては、Aということで評価をさせていただいております。その下の「履行状況の確認」でございます。こちらにつきましては、それぞれ「1 市民に平等な利用の確保、施設の適正な管理」の各項目から、次のページ、7ページでございます。「2 市民サービスの向上」の各項目、それぞれございますが、最後、10ページでございます。全部で47項目ございましたが、評価としては、それぞれ2ということで、合計94点、平均では2.0点という評価をし

たところでございます。

評価シートの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○稲垣部会長 どうもありがとうございました。ただいま所管課から説明がありましたが、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することになっています。これから計算書類等をもとに、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなります。一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおりまして、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書きの規定により、ここからの会議は非公開といたします。なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については再び公開といたします。

傍聴人はいらっしゃらないですね。

では、非公開として、続けさせていただきます。

それでは、公認会計士である潮来先生より、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとにご意見をいただきたいと思えます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○稲垣部会長 では、財務状況に関する意見としては、先生のご意見のとおり、倒産、撤退のリスクはないと、そういうことでよろしいですね。

(異議なし)

○稲垣部会長 そういうことで、部会の意見とさせていただきます。

それでは、次に行う、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換について、ここから先は公開といたします。

それでは、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思えます。何かご意見はございますか。

○早川委員 ちょっと質問とお願いとあるんですけども。

基本的に、自主事業には指定管理料を使うなという大原則があるんですね。そうすると、さっと見ていくと、一銭ももらわないで自主事業をやっているところが幾つかありますね、若葉の映画館とか。こういうのはいいんですね、それで。

要するに、自主事業ではマイナスになっている、ところが一番上の指定管理業務のところではプラスになっている。だから、トータルでプラスになっている。これは構わないんですねという原則論の確認です。だから、指定管理料といたって、市からもらうお金じゃなくて、売上から、利用料金から回っているんだからいいんだと、こう考えれば、それでいいわけですよ。そういう理解でいいんですね、という確認です。

○稲垣部会長 今のお話ですけどね、昨日、私は花見川区へ行ってきまして、それで、小川先生と、そういう花見川区の中の施設が、自主事業がすごく赤字なんですね。それでいいのかという、今と同じような質問を向こうでしたんですね。

要するに、結論から言うと、自主事業は赤字でも、トータルで、向こうの裁量でやっているんだと。儲けてもいいし、赤字でも、その代わりに、何とか大会みたいなのを、フロアを使ってやるという、確かに無料ですよ、やること自体は。その場合は、知名度を上げて、結果的に入場料が増えると。

○早川委員　いわゆる指定管理料の利用料金が増えるからいいんだと、こう理解をして良いのかということ。

○稲垣部会長　そういういろんな考えでやっているのではないかという意見がありました。だから、小川先生もそういう、マイナスというのはおかしいのではないかという意見もありましたけどね。

今、早川委員がおっしゃったように、それは向こうに任せるということでいいんですよ。部分的に赤字になろうと、黒字になろうと。

○早川委員　私が言っているのは、指定管理料の基本的な、何に使ってはいけないというルールがあるわけでしょ。だから、それに違反していませんかということです。だけど、指定管理料を使っているわけじゃないんだ、利用料金から回しているんだと。

○布施文化振興課長　ご説明いたしますと、自主事業に係る費用については、全て指定管理者の負担で行い、指定管理委託料及び利用料金を充ててはならないということで、基本協定書の中では、第40条の中で定めているということです。

○早川委員　利用料金を充ててもだめなんですね。

○布施文化振興課長　一方なんですけど、大幅な利益の還元については、指定管理業務及び自主事業により得た収入の和と、これに支出した金額の和との差で生じた税引き後の額が3,000万以上の場合は、その超過部分を大幅利益とすることとしているということでございます。

○早川委員　この程度だったら問題ないと。

○布施文化振興課長　はい。

○稲垣部会長　増えた場合は、これをもらおうと。赤字は自分で持ってもらうけれども。

○早川委員　基本的にそういうことですよ。全体的に、それぞれの施設の特徴があって、美浜は音楽を中心になるとか、若葉はサークルとかそういうふうになるとか、市民会館は会議が中心になるとか、非常に性格が出てきて、私はいいんじゃないかというふうに思っています。

ただ、さっきの説明の中で、計画から見て、計画に対して利用料金収入が減っているよとか、いろいろ説明があったんだけど、改修工事なんていうのは、年度の初めでわかっていることなんであって、それは計画に盛り込めばいいじゃないかと単純に私は思いますね。

それから、あれは市民会館ですか、工事の予定は立ったけど、工事ができなくなったので、それはどう考えていいのか。そういうものは、ある程度予測できるものは、市民サービスという観点から、早目な対策を打っていく。さっきは急にやらなくなっちゃったって、慌てて広告しても追いつかなかったと、こういうようなニュアンスの説明だったような気がしますけど。やっぱり市民サービスをもっと充実させていくという意味では、臨機な対応が望まれます、というのが意見でございます。

それからもう一つ、違うところでも同じようなことを言っているんですが、アーティストバンクなんですけども、これは将来の問題で、今回どうこうではないですが、これを指定管理者さんにやってもらっていていいんですか。むしろ、こういうことこそ文化振興財団がやるべきだ。というのは、今度はお宅でないよと言ったら、次の管理者に書類を引き継ぎますよということになるんだらうけども、文化振興上重要なアーティストバンクというのは、今後重要な役割を果たすのではないかと。そういう中で、それを委託先に任せる

というのは、むしろ市本体がやってもいいくらいの仕事だと。これは意見です。私も、こうなっているわけだからそれを変えなさいとか、そういう意味ではないんですが。

○稲垣部会長　それ、よく意味がわからないので、もう一回、ちょっと。

○早川委員　この評価のところ、アーティストバンク、登録アーティストを何とかしますよと書いてある。これは、芸術大学を出たけどもどこかの交響楽団にも入っていないとか、劇団に入っていない人が登録しておくわけですね。それで、どこかで公演をやるという、今度来ませんかといって、そこで公演活動をやる。こういうふうになっているわけですね。

そういうような、ずっと蓄積が必要なもの、仕事を、この5年契約のところに任せていていいんですかと。それはむしろ市本体とか、市本体の別働である文化振興財団とか、そういうところでやってもらったらどうですかという意見です。これを今だめとか、変えろとか、そういう意味じゃないんですが。今後はそういうようなことも検討していただきたいということです。

○稲垣部会長　要するに、ここでやるのが悪いというわけじゃない。やるのはいいんだけど、市のほう、別のほうでちゃんとやってくださいよという。

○早川委員　これはもう、ずっとやらなきゃいけないことだと思うんです。

○稲垣部会長　振興財団なんかのほうをもっと頑張るべきじゃないかということですか。

○早川委員　財団がいいか市本体がいいかはわかりませんが。すぐなくなってしまうといい、契約で仕事が決まっている先ではないところがやったほうが本当はいいんじゃないかなという気がするということです。

○稲垣部会長　結局、小川先生が昨日言ってたんです、先生、専門家ですから。要するに、そもそもコミュニティセンターで何をやろうとしているのか、というか、来る客を単に増やしたらよいというわけではないだろうとか、そういう。今の、早川委員と逆の話で、いろいろとやるべきだというような意見を。確かにコミュニティセンターのあり方がそもそも決まっていんじゃないかというような議論をされてましたかね。あり方を、どちらに向いていくかというのは難しい問題ですね。部会で決めるのも変な話だけど。

○丸島生活文化スポーツ部長　よろしいでしょうか。今の早川委員さんがおっしゃったのは、評価シートの「4 指定管理者の自己評価」のところに書かれているところだと思うんです。

○早川委員　そうです。

○丸島生活文化スポーツ部長　これは今おっしゃられるように、本来このアーティストバンクというのは、文化振興財団の事業としてやっているものです。それを別の、こちらの指定管理者のほうもその事業を使って、こういった事業をやっているということです。

○早川委員　財団に聞いたら、全くやっていないみたいな回答だったので。だから、ここに書いてあったので申し上げた。

○丸島生活文化スポーツ部長　アーツステーション課という課をつくって、課長さんがいて、振興会議に出ていたじゃないですか。

○早川委員　そのときに聞いたのは、余りうちのほうは関係ないみたいな感じでしたんで、あえてここで。ああいう仕事をこういう5年間の年限のあるところでやるのはおかし

いじゃないかというのが今の意見です。財団がちゃんとやっているなら、何ら問題はないです。

○丸島生活文化スポーツ部長 財団が中心になってやっています。

○稲垣部会長 おっしゃる意味はわかりました。要するに、ここがやっているのは悪いことじゃないんだけど、本来、ちゃんとやってくれよというご意見と。そういうことですね。

○早川委員 それから、細かいことですが、採点して2とか何とかありますが、7ページの上のところ、「障害者雇用への配慮」というのがあります。これは2点で一向に問題はないんですが、その後、「募集時に排除することもない。」なんて、こういうのはコメントとして全く要らない、当然のことをコメントとして書く必要はないのではないかと、思います。

○稲垣部会長 排除していないということをわざわざ。

○早川委員 当たり前の話で。そんなことをわざわざ。

○潮来委員 こんなことを書いちゃいけないということですよ。

○早川委員 むしろ、いけないですよ。似たようなのが後で出てくるんですよ。2点がついているんですけどね。実際はゼロなんですよ。他で雇っているから2だと、こういう評価になっている。そこでやっていなきゃ、やっぱり、余りいい評価をつけなくてもいいんじゃないかと思えます。

○稲垣部会長 2点自体は2点でいいけど、ということですね。

他には何か。よろしいですかね。

そういうところもいろいろやっているのは、やっぱりいいことはいいですよ。

平日の稼働率の向上って具体的にどうすればいいか難しいですよ、特にホールになると。ああいうリハーサルとか練習とか何か、サークルがいればやれるけど。大きなホールに、普通休みじゃないと、客が仕事を休んで見に行くという人がそもそもいないわけだから。相当無理があるんですよ。お客さん相手ですもんね、あれはね。同好会じゃないから、大ホールというのは。

○早川委員 私は、回転率というのは余り興味がないと思っています。

目的に応じて施設がどんどん使われていけばいいんであって、回転率のウェイトを余り高くしてしまうと、無理して入れてしまう。だからもちろん、最初に申し上げたように、例えば若葉とかああいうところは、サークルとかの利用が恐らく増えているんじゃないかと思えますけど。それは本当にいいことですから、それはもう、芸術でも何でも利用できるわけですから。そういうふうにはやっていけばいいですよ。

○稲垣部会長 平日利用というのは、観客を相手にしない何か、リハーサルとか、そっちを拡充するしかないですよ。

○早川委員 だから、そういう面で広げていく。

○稲垣部会長 練習にも使わせてもらう。

○布施文化振興課長 本番の前のリハーサルですとか。

○潮来委員 空いているんだから、使ってくださいと使っていただいたら良いですよ。

○稲垣部会長 わかりました。ありがとうございます。じゃあ、今の点、ひとつが今の

ご意見。

改修工事が計画どおり実施されるようにと。これは施設管理者の責任ではないんですね、これは。これももう、市の問題ですよ。

○布施文化振興課長　　そう、あの、なかなか工事がうまくいかない。

○早川委員　　それは構わないんですけど、だから、そのときの対応を。

何か鍵をもうちょっと早く貸してほしいといった、10分前じゃなきゃだめだという。それはわかりますけども、料金も多少考えなきゃいけないみたいな意見があったけど、それはちょっと。コストが増えるんなら料金を増やしてもいいけど、10分増やすというのは、コストは全く関係ないと思うんですよ。管理上の問題だけだと思うので。それは施設管理者の、施設を運営しているところの意見ですから。市は関係ない。

○稲垣部会長　　2つ目は、さっきおっしゃったのは、アーティストバンクの拡充など引き続き関係団体と連携をしてちゃんとやってほしいと、そういうことですね。連携するのはいいことだと思います。

○早川委員　　さっきの部長のご回答であれば、私の認識違いですから。そこはお詫びしますから、非常に重要な役割を果たしてくれるんじゃないかということだけは。

○稲垣部会長　　3つ目のホールの平日の稼働率の向上のために、具体的な工夫をしていただきたい、そういうことですね。

以上の3点でございます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長　　それでは、これらを踏まえて本部会の意見とすることにさせていただきます。では、先ほどの財務状況も含めて、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくこととなりますが、今の文言の詳細は事務局と私のほうで調整したいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長　　ありがとうございました。

では次に、総合評価について審議いただきます。所管課から説明をお願いします。

○布施文化振興課長　　では、続きまして、資料の5-1のほうをお願いいたします。

「指定管理者総合評価資料」に基づきまして、ご説明をさせていただきます。

まず、こちらの「1 基本情報」でございます。先ほどと同じでございます。施設名としては4館、千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホール、美浜文化ホールの4館でございます。それから、指定管理者につきましては、アートプレックスちば事業体でございます。指定期間は平成23年4月から28年3月までとなっております。

続いて、「2 管理運営の状況」でございます。「(1) 業務の概要」についてはご覧のとおりでございます。続きまして、その下、「(2) 利用状況」でございます。まず、「①利用者数」についてでございます。こちらのほうにつきましては、縦軸が市民会館、文化センター、若葉文化ホール、美浜文化ホール、利用者数合計というような形で、右側に行きまして、22年度、23、24、25、最後が26年度というような表でまとめてございます。こちらにつきましては、先ほども少しご説明をしたんですが、美浜文化ホールにつきましては、年々利用者が増加しているというような状況でございます。しかしながら、市民会館、文化センター、若葉文化ホールにつきましては、ちょっと増減等があるわけな

んですが、ほぼ横ばい、もしくは若干減少傾向にあるのかなというふうに思っております。特に、市民会館につきましては、先ほどもご説明しましたように、25年度及び26年度につきましの工事の予定によりまして、予約受付のほうで休止をしていたというような期間があったということなども影響があるのかなというふうに考えているところでございます。それから、欄外にありますように、若葉文化ホールについては、先ほどと同じように、工事をしていたための休館があったということなどが利用者減かなというふうに考えているところでございます。

では、その下の「②稼働率（回転率）」のところをお願いいたします。まず、市民会館でございます。こちら縦に大ホール、小ホールという形で、施設単位でございます。右に見まして、22年度、23、24、25、26というような状況でございます。まず、大ホールにつきましては、ほぼ63%から毎回過去増減があるわけなんですけど、25年度が67%、26年度が63%というような形でございます。また、小ホールのほうについては、22年度54.3%から若干伸び悩みまして、26年度は49%という状況でございます。状況としては、先ほど言ったような原因があるのかなというふうに推察をしております。

続きまして、2ページをお願いいたします。次は文化センターのほうになります。文化センターのほうにつきましては、アートホール、セミナー室というような形で同じく施設を縦、横が年度でございます。ホールにつきましてご覧いただきたいのですが、22年度49.8%から、その後はずっと50%半ばぐらいを動いておりまして、多少の増減はあるものの、ほぼ増減、横ばいというような状況だというふうに推察をしております。

続きまして、若葉文化ホールにつきましても、ホール、リハーサル室ということで、縦軸でございます。こちらは、先ほども申し上げたように、26年度は休館期間がありましたのでどう捉えるかというのがありますが、ほぼ横ばいの率かなというふうに考えているところでございます。

最後になります。その下、美浜文化ホールでございます。こちらのほうは、メインホールと音楽ホール、リハーサルスタジオということで、縦軸でございまして、22年度から右に行きまして、26年度ということでございます。こちらのほうにつきましては、特に2つ目の音楽ホールでございます。音楽ホールにつきましては、22年度の59.1%から順次伸びておりまして、26年度では71.4%ということで、順調にというか、毎年伸びているというような状況でございます。それから、その2つ下でございますが、スタジオにつきましては、25年度と26年度、事業者のほうの関係なんですけど、期間限定で平日の割引をスタジオで実施したということから、それ以前と比べまして、利用者が増えたのかなというふうに考えたところでございます。

では、その次、「3 利用者意見への対応状況」でございます。こちらにつきましては、23年度、24年度、次のページに行きまして、25年度、26年度ということでございます。設備・備品に対する対応につきましては、できるだけ速やかに対応するようにしております。ただ、先ほど早川委員さんからお話がありましたように、26年にありますように、鍵の貸出しを早めてほしいという部分については、制度上の割増料金という加算というような部分がありますので、その辺をできるだけ柔軟な対応をとるような形で、その都度、丁寧に説明をしながら、できるだけの対応をしているというような状況でございます。

す。

では、その下の「4 収支状況」でございます。「(1) 過年度の収入・支出状況」ということで、まず、「収入」欄でございます。縦軸ですが、「指定管理委託料」、「利用料金」、「自主事業」、「その他」で、最後が「計」というようなことでございます。それから、めくっていただきまして、次のページが「支出」のほうになります。支出のほうにつきましても、縦軸で「人件費」、「事務費」、「管理費」、「自主事業」、「その他」、「計」となっております。こちらのほうで、まず事務費のところでございますが、年々増加している部分につきましては、光熱水費の増というものがあるのかなというふうを考えているところがございます。下のほうお願いいたします。下のほうに「収入計」欄、さらに下に「支出計」欄がございます。その下が、一番最後、「収支」でございます。収支につきましては、収入から支出を引いたものでございまして、22年度から申し上げますと、352万7千円、翌年度が455万9千円、その次が96万4千円、最後が723万7千円ということで、各年度とも収支としては黒字という状況でございます。それから、その次、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」でございます。まず、1つ目につきましては、書いてございますように、シフト制によります交代勤務体制を導入したことによりまして、時間外の縮減が図られたというのが1点でございます。それから、その次が物品等でございますが、仕入れの見直し、あるいは一括購入により、経費の削減を図ったというのが2点目でございます。3点目としては、施設において省電力のLEDを導入したことにより光熱水費の抑制に努めたということで、引き続き努力していくというような状況で取組みをしているということでございます。

続きまして、資料5-2をお願いいたします。資料5-2「指定管理者総合評価シート」でございます。まず、「1 基本情報」につきまして、先ほどと同じでございますので省略をさせていただきます。

続きまして、その下の「2 総合評価」の欄でございます。まず、「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」でございます。それぞれ、「1 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理」から、各項目においてそれぞれAという評価をさせていただいております。それから、おめくりいただきまして、2ページ目、「3 施設の効果の発揮、施設管理能力」欄等につきまして、各項目とも、それぞれ、Aという評価をさせていただいております。したがって、一番最後の欄でございますが、総合評価としては、おおむね事業計画どおりの実績・成果が認められたということで、総合もAということで評価をさせていただいているところでございます。説明は以上でございます。

○稲垣部会長　ただいま所管から一通り説明をいただきました、文化施設の総合評価につきまして、この市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様から意見をいただきたいと思っております。ご質問も含めて、よろしくをお願いいたします。

○金子委員　質問をよろしいでしょうか。利用者数についてなんですけども、これはイベントでの来館者数も含めた数字になっているんですね。

○布施文化振興課長　はい。入り口に入った方々です。

○金子委員　ですね。そうすると、大規模なイベント、コンサートなど、そういうのが行われたとしても、人数としては伸びるというようなことになりますよね。非常に小規模なものをたくさん行っても、人数的には伸びないというようなことも出てくるかと思

ますので、そういう意味で、稼働率という指標もあるんだとは思いますが、利用件数で見るとということも今後大事なのではないかなという。ちょっと、規模の違いですね。稼働率よりも、稼働率も大事なんでしょうけども、利用件数で見えていくことが、もう少し実態、その使用状況が見えてくるんじゃないかなというふうに思いますので。資料をいろいろ見ていけば、利用件数とかも出てきてはいますけども、評価の中でそういうところも見ただけでいいのかなというふうにちょっと思いましたので。

○稲垣部会長　簡単に言うと、イベントでホールに入ったような人を除いて数えてある利用者が、どのぐらい増えているか知りたいということですか。

○金子委員　そういうことです。どれぐらい使われているかという、実態といいますか、イベントの規模による水増しというか。水増しというわけではないんでしょうけども、実質的な部分でどれぐらい利用が促進されているのかというの、利用促進が図られたかどうかを見るには大事なんじゃないかなというふうに思います。

○稲垣部会長　そういう視点からということですね。他に、どうぞ。

○鏡委員　この指定管理者の評価というのは、恐らくPPPとかNPMの視点で、民間に公的な仕事をお願いするという観点だと思うんですね。そういう視点で、この指定管理者の業務自体がどうであるのかというのは、これらの表でよくわかるんですけど、その前提として、ちょっと利用者数が、22年から段々と下がってきているとか、あるいは稼働数も低くなっているという、その施設自体の数字がすごく気になるんですね。

そういう意味で、この施設のあり方というのは、この指定管理者の話とはちょっと別なんですけども、この後で言うと、施設を保有していることとか、それに係る指定管理料とかってというのは非常に財政的に大きな負担になってくるというふうに思うんです。そういう意味では、計画数とか、あとは、稼働率という、計画上の稼働率というのは、表には載っていないんですけども、本来この施設としてターゲットになるような層として、どのぐらいの稼働率とか、どのぐらいの利用率があると、その施設は地域に支持されているんだというふうに、そういう指標が必要になるんじゃないかなと思うんですね。そこから先は、管理運営のあり方とは別なところで、その施設の必要性についての議論というのは次に出てくるんじゃないかなと思うんですけど。

その点で、こういう計画上の稼働率とか、あるいは計画上の利用数、計画数、そういうところについてのお考えというのを外した理由等、この方法を何か数値化して、入れていくというお考えがあるかどうか、お聞かせいただきたい。

○丸島生活文化スポーツ部長　確かに鏡さんが今おっしゃるような、指標というものがあって、それを達成したかどうかというのも評価の判断にする、それは一つのお考えだと思いますが、我々はこういった施設がどれだけ利用率があったらいいのかという指標というのは、実は非常に難しいと思っていて。要は、今までの実績に基づいて、今までがこうだったので、その前後これだけあればいいですよというような評価をしていきたいと考えておまして、そういった関係からで、過年度の利用率を出させていただいて、それに対してどうなのかという評価をしようという考えでおります。

ですから、施設ごとによって、この施設が、稼働率がどれだけ行けばいいというような評価はなかなか難しいかなというのは思っています。とはいえ、今おっしゃられたような、今度は別な視点で、市としてこれだけ固定資産をたくさん持っていて、財政負担が大きく

なるので、それはそのままでもいいのかというもちろん議論がありまして。これも昨年ちょっとお話ししたと思いますが、資産経営部のほうで、千葉市が持つ全体の総資産を減らしましょうという指針を出してありまして、それに基づいて、順次減らして、当然施設は老朽化していきますので、その段階で、更新するのかもしれないのかという判断をしていくことになります。

実は、この文化施設についても、今年度、委託を出して、文化施設全体のあり方というのを、基礎調査をしようと思っています。特に、この中央区周辺は、我々の文化センターと市民会館、それから京葉銀行文化プラザ、それから県の文化会館と、たくさん文化施設があります。特にこの中央区周辺のホールはこのままでいいのかっていうのを、ちょっと今年度をかけて検討して行って、将来の千葉市の文化施設はどういった位置付けがいいのかというのを検討したいとは思っています。その中で、集約をするのか、建て替えをするのかという方向性を出したいなと思っています。

特に、我々が持っているこの施設は老朽化が進んでありまして、市民会館等も非常に古くて、そういった意味で、もう、年々、逆に利用率が下がっていているというのがあります。当然新しくきれいな大きなホールにお客さんをどんどん獲られていく方向にありますので、その辺も含めて、施設のあり方というのは今後検討いたしますが、評価の仕方とすれば、今までと比べてどうだったのかという形で評価していきたいなとは考えております。

○鏡委員　　というのはよくわかりますが、という視点に、将来の参考になるために、ただ、一つ、やっぱり稼働率とか、計画上のこのターゲットポイントみたいな、計画上の稼働率とか計画上の利用率というのは、このぐらいだから適当だというのはあると、お持ちになったほうがそういう評価はやりやすいんじゃないかなというふうに思いますので。それはなかなか厳しいし、数値化するのは厳しいですけども、ぜひ出していただければと思います。

○稲垣部会長　　全般的にはそういうお話のとおりで、指定管理者、A、B、Cのどこを選ぶかというのとはまた別問題ですからね。アンケートなんかを見ても結構満足率が高いとさっき言いましたよね。満足している人が100%って、みんな満足していても、行くところ行くところ、毎度同じようなことをやっている状態だったら。キャパシティ全体であるべき姿というのは、また別の分野で考えるしかないですよ。満足したって、毎回、その公演は一回しか聴きに行かないですからね。住民がどれだけ熱中しているかとの兼ね合いですよ。それでよかったといっても、2回行かないですからね。そういう部分を私は重要だと思うんです。

要するに、やっていただいているということですね、別の分野でね。検討中と。わかりました。

他に。どうぞ。

○早川委員　　それぞれの施設の連携事業というお話がありましたけども、具体的には申し込みとあってそういうものの受付というのが中心になっているわけですね。

○丸島生活文化スポーツ部長　　主にそうです。

○早川委員　　それで、人とか器具とか、こういうものを相互にやるという段階にはまだ行っていないということですね。例えば、電気技師とか特殊な、資格を持った人がそれぞ

れの施設にいるわけですね。だから、二つの施設で一人よというのは、そうはいかないという、そういう理解でいいわけですね。

○丸島生活文化スポーツ部長 はい。

○早川委員 できるだけ、そうするともっとコストが下がりますので、そういうこともご検討なさったらどうか。

というのは、今ゴルフ場がいっぱいあるんですが、ゴルフ場が3つ4つあると、例えばグリーンキーパーなんて一人で3つのゴルフ場ぐらい見るんですよ。そうすると、人件費が3分の1になっちゃう。例えばね。そういうようなことも将来的な対策としてはぜひ考えていただきたい。

それから、意見欄の中で、さっきの鍵の問題、なぜそんなことを言うかというのと、その下に美浜文化ホールの中で食事させろというような声もあるという。だめと。こういうのはもう、はっきりだめと断って当たり前。だってできるだけ便宜を図ったらと言っても、そこまでの必要はないと思います。これは、施設管理者が書いているんですから、別に市がどうこうじゃない。もうだめなものはだめでもいいんです。

ただ、施設を10分か20分、早目に開けたら割増しだとか、そういうのはいかがかなということなんです。ずっと前にも申し上げたと思うんですが、ポートアリーナで千葉県の剣道大会をやるので、朝、参加者がいっぱい多く、ぴったり時間どおりに試合を始めないと間に合わないから、前の日に、何ていうんですか、テープで試合場の組立てをやらせてくれと言ったら、1日分払えと言われたという。それは、確かにルールから言えばそうかもわからないけども、やっぱり利用する市民の方の立場を考えて、例えば20分、30分ぐらい、電気をつけますから電気代がかかるという問題はあると思うけど、それは大目に見て、柔軟に対応してやるという。これは鍵の問題もですね。そういう基本的なところが重要です。やっぱり、だめなものは絶対だめですと、ルールを考えないといけない。食事をしちゃだめと、音楽ホールではだめとか、こういうのはもうきちっと言っていないんじゃないかと思いますね。

だから、結果的にもう、千葉県の実業団剣道大会というのは、ここでやっていませんから。ここじゃあ2日分を払わなきゃ、準備ができないのでは、それはとってもしないですから、違うところを借りてやっている。結果的に利用率を下げちゃう。

○稲垣部会長 そういう点も柔軟にといいますかね。

○早川委員 しょうがなくそうするとか、いい加減でいいですよ、とかそういう意味ではなくて、やっぱり事情とか何かを聞いて、柔軟に対応することが必要だと思います。やっぱりだめなものは、もうびしっとだめと、そう言っていないんじゃないですか。

○稲垣部会長 これは、皆さんの希望というのは、洋式トイレというのは、ウォシュレットの希望が多いと思うんですけど、それで小破修繕は、委託者がやるわけですよ。これは小破修繕に当たらないということなんですか。

○丸島生活文化スポーツ部長 和式トイレを洋式に変えるというのはすごく、数百万単位です。1カ所だけだったらいいんですけども、ここだけ1個というわけにはいかないの、相当な金額がかかるということ、これは市側が主にやるようにしますので、財政状況によって、優先順位をつけてやっていると、トイレはどうしても最後のほうになってしまう。

- 稲垣部会長 希望がすごく多いですね。
- 丸島生活文化スポーツ部長 そうですね。だんだん、高齢の方が多いので。
- 稲垣部会長 全部一遍にやらなくても、一つずつ、あちこちちょっとやっていけば。
- 丸島生活文化スポーツ部長 ただ、あるのはあるんです。あります。あるんですけど、数が足りないという。
- 稲垣部会長 足りないということですか。
- 早川委員 ただ、男性と女性で数が違うんじゃないですか。洋式と和式。
- 丸島生活文化スポーツ部長 そうですね。
- 早川委員 だから、年齢とかを考えて対応なさったら。あと、お金ですか。
- 布施文化振興課長 小破修繕の単位が60万円以下という役所的な制限がございますので。
- 稲垣部会長 アメニティというか、トイレというのはすごく重要ですよ。レストランに入っても。やっぱり優先順位を上げないといけないんじゃないかなという感じがしますね。
- 金子委員 早急に変えられないとしたら、いくつかある分がどこにあるのかという情報をきちっと、ここに行けば使えますという館内の。
- 早川委員 お年寄りには特にそれが必要になると。
- 金子委員 そういうのをやるだけでも、少しは改善になるんじゃないかなと思いますので。
- 丸島生活文化スポーツ部長 洋式トイレはここにありますがという表示ですね。
- 金子委員 そうですね。
- 稲垣部会長 この評価なんですけども、結局A評価ということになっています。この評価自体へのご意見はいかがでしょうか。
- 早川委員 よろしいんじゃないかと思います。
- 稲垣部会長 特に、よろしいですね。

(異議なし)

- 稲垣部会長 もっと細かいことという意見もあると思うんですが、結局、継続している結果の評価ですからね。そんなに細かくやる必要はないのかなと。今までやっていることであればいいという、そういう評価の仕方でもいいですね。

(異議なし)

- 稲垣部会長 では、このとおりということにさせていただきます。

では、次に、施設管理運営のサービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆様から、忌憚のないご意見ををお願いします。

結局、今まで出た話と同じようなことですかね。別に選定だから変わった意見というのもしないですね。今までのご意見と同じような意見を希望するということがよろしいでしょうかね。追加したい、選定ならこういう意見をというものがあれば。

(なし)

- 稲垣部会長 そうということで、今までと同じ意見をこちらにも反映させていただきます。「稼働率も必要だけでも、利用件数について利用促進の観点からも把握する必要があ

る。」と、その点を検討されたい。「老朽化している施設は今後のあり方について検討されたい。」「計画上の稼働率も評価しやすい仕組みを検討されたい。」「効率的な施設管理の工夫を検討されたい。」というふうなまとめなんですけれども、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長 では文言の詳細については、また、事務局と私のほうで調整したいと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長 ありがとうございます。施設所管課におかれましては、委員の皆様から出された意見を、次期指定管理者の選定の際に十分に反映していただきたいと思います。

それでは、ここで5分間休憩を取りたいと思います。

(休憩)

○稲垣部会長 それでは再開いたします。

千葉市若葉区千城台コミュニティセンターの年度評価について施設所管課から説明をお願いします。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 若葉区地域づくり支援室の三浦でございます。よろしくお願いたします。では、資料6-1をご覧ください。「指定管理者評価シート」でございます。まず、1ページの「1 基本情報」でございますが、指定管理者は、先ほどの文化施設と同様に、アートプレックスちば事業体、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。なお、平成26年度につきましては、11月1日から27年3月31日までの5か月間、空調設備改修工事の実施により全館休館いたしました。これは、若葉文化センターとの複合施設ということで、そちらと同じような扱いになっております。したがって、この期間につきましては、諸室及びトレーニング室の貸出しは行うことができませんでした。

次に、「2 管理運営の実績」についてでございます。まず、「(1) 主な実施事業」の「①指定管理事業」ですけれども、その3番目のコミュニティまつりですが、こちらは、昨年10月18日、19日の2日間に行われました。こちらは、非常に天候にも恵まれたということで、多くの近隣住民の方を含め、大体7,500名ぐらいの方にお越しいただきまして、大変盛況でございました。その他の指定管理事業につきましては、ご覧のとおりでございます。続いて、「②自主事業」ですが、こちらは4月から10月末までの7か月間で34回実施されており、各事業につきましてはご覧のとおりでございます。この中でも特に、真ん中より少し下にありますが、7月5日に実施した「七夕まつり」では、日頃のサークル活動の成果の発表の場として、作品の展示やコンサート、郷土芸能の発表が行われ、約600人弱ぐらいの方に来場いただきました。また、親子を対象としました「おやこ料理教室」や「親子映画鑑賞会」を毎年実施しているんですけれども、こちらでも非常に多くの親子連れにお越しいただきまして、好評を得ているところでございます。続きまして、「(2) 利用状況」ですが、26年度の利用者数は、閉館までの7か月間で5万5,149人でした。こちらにつきましては、諸室の利用者数ということになっております。稼働率につきましては33.9%ということで、こちらでも7か月間の状況でございます。続きまして、「(3) 収支状況」ですが、先ほど申し上げましたけれども、工事に伴

う休館によりまして、指定管理料の一部の見直しを行った結果、指定管理料につきましては、決算額として8,367万9千円ということになりました。なお、指定管理料につきまして、当初から変更しなかったのは、この年度協定の締結時には、まだ工事の期間がはっきり定まっておりましたので、年度の途中で変更契約を締結するというので、そのような対応をいたしました。利用料金につきましても、休館に伴い、計画額を下回る結果となりました。収入の「その他」の項目でございますが、こちらは、同一敷地内にあります若葉図書館、千城台公民館の光熱水費を当施設が一括で支払っており、その同額分を各施設から負担金収入として収受しているものですが、こちらも計画額を下回っております。「②支出実績」について、こちらも休館により、勤務を要しなくなった期間の人件費を削減したり、休館中の事務費については光熱水費が減少したり、あとは管理費として、設備機器の保守点検回数を減らしたりして減額しているほか、あとは、軽微な維持・修繕などは職員が実施をして、経費の縮減に努めたということで、支出を抑えることができました。結果としまして、「③収支実績」でございますけれども、決算額としまして、271万9千円のプラスとなりました。次に、2ページをご覧ください。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」ですが、これは施設の貸出しにおける使用許可の件数で、6,889件でございます。次の「(5) 市への不服申立て」については、申立てはございませんでした。また、「(6) 情報公開の状況」ですが、こちらも文書開示の申出はございませんでした。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございます。まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」につきましては、「①アンケート調査の実施内容」のところに記載がありますけれども、まず、満足度調査を8月いっぱい行いました。こちらの満足度調査は市が指定した調査として行ったものでございます。また、その下の未利用者アンケートにつきましては、指定管理者が独自に行ったアンケート調査ということで実施しております。調査結果についてはご覧のとおりでございますが、特に、満足度調査、2ページの下からの「②調査の結果」に、満足度調査の結果が記載されております。3ページに入りますが、満足度調査の結果としまして、「①スタッフの態度」から「⑥施設の清掃」、こちらの項目までは、満足度が「普通」以上と回答された方が9割近くいらっしゃるということで、それなりの評価を得ております。一方、「予約方法」につきましては、「不満足」、「非常に不満足」等の回答が9.2%ということで、他の項目より満足度が低くなっております。これにつきましては、平成25年度に新たに施設の予約システムを導入し、予約方法を変更しましたので、恐らく以前の予約方法に慣れていた方にとってはわかりにくくなったということが考えられまして、この予約システムの変更が大きいのではないかとこのように考えております。施設といたしましても、このような状況を踏まえまして、利用者に理解していただけるよう、職員が丁寧に対応に努めているところでございます。続きまして、「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」でございますけれども、内容としましては、「駐車場が少ない」というご意見をいただいております。駐車場は現在76台なんですけれども、複合施設ということもありまして、各施設でイベントを行って重なった場合というようなときは、どうしても駐車場が不足しております。このため、利用者の方には駐車場の状況について十分理解してもらえるように努めるとともに、利用者以外の方が駐車しないように見回りも徹底しているところ

でございます。あわせて、公共交通機関の利用についても日頃から呼びかけを行っております。次の「(2) 市に寄せられた意見、苦情」につきましては、こちらはございませんでした。

次に、4ページをご覧ください。「4 指定管理者による自己評価」についてですが、まず、「施設の利用状況」につきまして、今年度につきましては、4月から10月末までの7カ月間における目標値との比較ということになっておりますけれども、諸室の稼働率及び利用者数、トレーニング室の利用者数は、目標を達成したという評価になっております。また、利用料金収入は目標を大幅に上回ったという評価をしております。また、予約管理システムの導入により適切かつ迅速に、諸室及びトレーニング室の施設貸出業務が適正に実施されたと評価しております。次に、「施設の維持管理」についてですけれども、こちらは、各実施計画表に基づき、利用者に安全かつ快適な施設として、適正な維持管理に努めたと評価しております。また、「自主事業」については、各プログラムとも実施計画書に適合し十分な成果を上げたという自己評価しております。

続きまして、「5 市による評価」ですが、評価につきましては3段階評価の真ん中のA評価といたしました。その理由としましては、記載のとおりでございますが、特に、上から2つ目になりますが、自主事業については「幅広い年齢層の方が参加できる各種プログラムを実施し、参加者に好評を得ている。」、また、「施設管理については、概ね事業計画どおりに実施されている。」、また、その次ですが、「ロビー等照明のLED化による節電や、対応可能な小破修繕は職員が行うなどのコスト削減に努めている。」、また、その次の「経営管理業務においても、事業報告等適時になされており、概ね管理運営の基準等に適合している。」と判断したことでございます。

「履行状況の確認」につきましても、ご覧のとおりで、ほとんどが、仕様、提案どおりの実績・成果があったということで、2点といたしました。

先ほど、委員さんからご指摘がありました。5番目の「雇用の考え方」で、障害者雇用につきましては2点ということです。本市で雇用はないということですが、こちらの施設につきましては、職員が3名とアルバイト2名ということで、5名で運営している施設ですので、その中だけで障害者の雇用というものを求めていくのは非常に難しい面があるだろうということで、アートプレックスちば事業体の中で判断ということで、2点というふうには点数をつけさせていただいております。

また、特にこちらで触れたいところが、6ページでございます。「(3) 施設の効用の発揮 施設管理能力」のところのこちらが一番下のところですが、「部屋状況チェック表の実施」、こちらにつきましては、利用者にも部屋の状況をチェックしてもらっているということで、3点をつけております。また、7ページですが、上から3つ目の「美観の保持」についてですけれども、こちらにも床面のコーティングを実施して、清潔感のある美しい美観を保ち、利用者サービスの向上に努めているということから、3点としております。

その結果といたしましては合計で152点、全ての項目の評価の平均は2.0点となりました。指定管理者評価シートの説明については、以上でございます。

○稲垣部会長 ありがとうございます。

それでは、指定管理者の財務状況に関して、先ほどと同じ管理者ですので、この点は省

略いたします。

指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますか。

○早川委員　　ちょっと質問していいですか。「確認事項」というのがありますね。この事項は誰が決めるんですしたっけ。どこで決まるんでしょう。それぞれ違いますよね。全部同じですか。

○稲垣部会長　　チェック項目ですか。

○早川委員　　チェック項目です、確認。

○稲垣部会長　　最初、誰がどういう手順で項目を決めたのか。

○早川委員　　今、障害者雇用の問題ももう全部それは了解いたしました。例えば、「ロビーでの新聞の提供」といって、これ、新聞が1部置いてありますと、これはもうそれで評価されるのか。大体こういうのを確認事項の中に挙げるのがいかがですかねと、こういうことで。議論していくと、こういうコミュニティ施設の中で、新聞なんか置く必要ないじゃないかという声も出てくると思うんですね。あえて確認事項としてこういうものを入れる必要があるんですかと。

同じような意味で言うと、終わりのほうに、「事業の適正な再委託」の中の「競争入札の実施」で、「入札の案件なし」というわけですね。そもそも入札するようなものがなければ、ないと2点がついちやうなんていうのは、これは確認する上で、必ずしも正しい点になるのかどうかというのは非常に疑問がありますので。

要するに、こういう確認項目は、市で作るんだろうと思うんですが。十二分にご検討をいただきたいということだけです。意見ですから。

ただ、売り上げとかコストとか採算を見ると、余り芳しくないということになるんですが、自主事業というのは34やっているわけですね。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　　はい、そうです。

○早川委員　　そうすると、これは2点じゃなくて、むしろ3点でいいんじゃないのかと。ただ、大幅な持ち出しですから、大幅っていくらぐらい、30万とか40万ですから、大したことないですが。34もやっていたら、これは3点の評価でもいいんじゃないかなというのが私の意見です。

以上、シートに対する意見です。

○稲垣部会長　　ご意見として、自主事業はもっと評価が高くてもいいじゃないですかということですね。

○早川委員　　ええ、自主事業はですね。34もやるというと、毎月3つぐらいずつやっているということで、大変だと思うんですね。採算はともかくとしても、おやりになるのは。映写機を回すだけだよといえ、それは簡単だけでも。それだけではないわけですよ。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　　それだけではないですね。確かに自主事業を、そもそも実施した計画自体も多いんですけども、確かにおっしゃるとおり。

○早川委員　　よくおやりになっていると思いますよ。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　　計画を上回る数を確かに実施はしてございます。

○稲垣部会長　千城台は全体的に活発な感じはしますよね。文化ホールと両方あわせて、という印象ですね。全体的に活発に自主的にやっているなどということだと思っんですけど。自主事業をよくやっている結果というところの評価をする項目は。

○潮来委員　ないんですよね。「自主事業の効果的な実施」というところで、「自主事業の実施状況」というだけで、回数が多いとかいう、その評価点はないんですね。

○早川委員　ないんです。

○稲垣部会長　それはよくわかりますけどね。市の評価の文言の中に加えるということもできますよね。3、4事業とは書いてあるけど。ということは評価に入れていきますね。市の評価の「所見」のところですね。

入場者数は何せ、さっきに戻るんですけど、7か月間しかない割にはよくやっていたと書いてありますけれども、でも、考えてみると、元々、前もって工事日程がわかっていると、本来、工事中の1月に予定していたものを、もうしょうがないから10月にやろうかとか、そういうので増えるのもあるわけですよね。期間が短い割には。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　そうですね。自主事業というのは、他のお客さんが上手く入らないところを狙って入れる必要がありますので。その辺の兼ね合いで、単純に前倒しというのなかなか難しいと思います。

○稲垣部会長　そうですね。そういう簡単にはいかないということですか。

○早川委員　若葉区に住んでいますので、私は大宮台寄りですけども、高齢化が進んでいますんでね。こういうコミュニティ施設の果たす役割というのはものすごく重要になってきている。だから、その中での自主事業というのは、やっぱりもっと積極的にやってもいいんじゃないかというふうに思いますね。もう買い物に行けないから、買い物バスというのを社会福祉協議会が回している、モデル地区ですけど。テスト的ですけども。もうそういうような世代、高齢化が進んでいますので。ぜひコミュニティセンターに頑張ってもらわないと、というふうに思いますね。

○稲垣部会長　高齢化が進むと僕のコミュニティでも大体、駐車場がどうのというのは要望が多いんですよ。さっきのトイレと同じで。これはなぜかという、高齢化が進んでくると、若いときなら1キロぐらい、5キロぐらい自転車でもいいんだけど、逆に車の利用自体が増えてくるんです。そういう問題があるから、駐車場が少ないから我慢してくださいと言っ放しでいいのかなという。先ほどのトイレと同じ問題なんですけど。高齢化、千城台の話でいくと、周辺から来るのに、若いときは2キロや3キロ自転車で行くからいいけど、この辺が。そういう問題も何か考える必要がないのかな。どこのコミュニティセンターでもそういう、駐車場が足りないですね。なぜかという、高齢化が進んでいるからじゃないかなと思いますけどね。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　そうですね。特に千城台につきましては、駅から比較的近いということで、コミュニティセンターと複合施設を利用する人ではない方が停めて出かけるケースもあるので、その辺は少し見回りを強化、警備の強化をしたいというふうになっている状況でございます。

○稲垣部会長　他に何かご意見は。

○金子委員　質問ですが、さっき予約方法が変更されて、それにうまく対応できないような方からの苦情があったという話だったんですが、具体的にどういうふうに予約方法が

変更されたのかとか、その背景も含めて。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 紙ベースの予約だったのが、パソコン、コンピューターでの予約になったというものです。

○潮来委員 対応できないということですね。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 そうですね。全市的にシステムとして導入されたので、なかなか高齢の方にはその内容が難しかったという。

○金子委員 先ほどの早川委員の意見で、コメントのときもあったんですが、地域的に高齢化が進んでいるところで、利便性をとってそういうシステムに変えたというところもあるんでしょうけれども、一方で、利用者の人に、対応していただくように説明するなりお願いするというのも大事だとは思いますが。今はもう、オンラインというか、パソコンのみでの受け付けという形。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 システムのみではなく両方です。

○金子委員 というわけではない。じゃあ、一応そういう便宜は図ってはいるということですね。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 はい。

○金子委員 じゃあ、あとは周知をきちっとしていくということですかね。そのあたりを、「利用促進」のところで、予約に関しては、「携帯サイトの充実」という項目で挙がっているんですが、そういったところの利用方法、予約方法ですかね、その周知にももう少し努めてもらうというのもお願いしたほうがいいと思います。

○鏡委員 ちょっと、そもそもの形がよくわからないんですけど、コミュニティセンターの管理をお願いしているということなんですけど、この他に千城台公民館と若葉図書館というのがあるということですかね。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 はい。

○鏡委員 それぞれ確認したいんですが、若葉図書館と千城台公民館というのは、図書館法に基づく図書館と、それから社会教育法に基づく公民館であるという。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 はい。

○鏡委員 それは、じゃあ、それぞれ別に運営を行っているということですか。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 それはそれぞれ別なんですけども、光熱水費の系統が同一敷地内にあるので、一緒になっていますので、大メーターは一緒だということで、まとめてこちらでそのお金を払って、後から子メーター分を入れてもらっているという。

○鏡委員 光熱水費だけですか。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 あと、維持管理の部分で一緒に行っているところがあります。

○鏡委員 修繕とかは。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 修繕は別ですね。

○鏡委員 それで、図書館とはちょっと性格が違うからあれなんですけど、コミュニティセンターの自主事業と、いわゆる公民館のいろんな主催事業がありますよね。そここのところとの関係というのは、何か調整がつくんですか。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 余り調整はしてないかもしれないです。すみません、具体的な話というのはちょっと聞いてはいないんですけども。

○鏡委員　公民館サイドはどういうことをおやりになっているのか、ちょっと資料がないのでわからないんですけども、要は、住民からするとコミュニティセンターでやっている事業と公民館でやっている事業というのを、余り差がわからないんじゃないかなというふうに思うし、そもそも社会教育法に基づく公民館の位置付けと、コミュニティセンターが目指すべき方向性というのは、やっぱりちょっと違うんじゃないかなと思うんですけど、この自主事業をたくさんやることによって、かなり公民館サイドに近くなっていく印象があるんじゃないかなと思うんですけど、その辺は。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　そこは、恐らく指定管理者がどういう色を出しているのかということの方が大きいのかなというふうに思います。公民館はあくまで社会教育とかそちらの場面が中心になった自主企画事業等を行っていると思うんですけども、例えば今こちらで、コミュニティセンターでは映画の上映とか親子の料理教室とかそういったことに非常に重点を置いて実施しておりますので、比較的色彩分けしながら、お互いの施設、競合をなるべくしないような形で自主事業というのは展開しているというふうに私は理解しております。

○鏡委員　恐らく80年代、社会教育とコミュニティセンターの大論争で、要は社会教育というのが生涯学習に変わったという経緯というのは、ある意味、社会教育の終焉を目指すというようなことがあったんですね。いわゆる成人に対しての教育は何だということ、生涯学習という言葉に変わったわけなんですけど。そういうことからして、コミュニティセンターというのは、ある意味、自主事業をやらずに、自分たちが主体的に、利用者が活動できる場を提供するというような位置付けがあったんだけど、これ、中を見てみると、随分と公民館的な事業に近づいてきたなという印象があるんですけど、とは言いながらも、単発的な事業が多いのかなというふうに思ったので。そこら辺をうまく、やっぱり、それぞれの施設の本来のあり方を切り分けするというか、役割分担していく必要があるかもしれませんね。単に自主事業を増やすというだけじゃなくて、やっぱりコミュニティセンターの自主事業としてのあり方と、社会教育法に基づく公民館のあり方というのをお互いに話し合いながら、それぞれの領域を果たしていくことが、市民にとってはいいと思うんですね。同じようなことをそこでやっている必要はないので、そこは何かすごく気になったんです。

○稲垣部会長　ありがとうございます。どうぞ。

○早川委員　時間がないので。行政のことをここで言ったってしょうがないのですが、結構そこ、緋い交ぜになっているところがいっぱいあるんですね。この間、違う会合で、文化、図書館とか読書は教育長の管轄だって。こっちの管轄じゃない、だから、口付けられないって。例えば踊りを踊ったり、笛を吹いたりすることを、学校へ行って教育すると、我々市民がやればここの管轄だけど、学校の中で教えたりするのは教育長の管轄だと。こうなるわけですよ。だけど、教えている人はこっちの人があっちへ行って教えているわけですから。

だから制度上、本当に行政の悪口を言ったってしょうがないですけども、そういうダブるといって、縦割りになっちゃっていて、うまくいかない部分がいっぱいあるんですね。これを、今度違う場で議論していただきたい。

○稲垣部会長　これ、逆に、コミュニティセンターがどんどん広がってくると、公民館

は要らないじゃないみたいな。

○早川委員　だから、基本的に、問題提起があったように、議論してみなきゃ、実際担当の人たちにうまく調整しろといっても、調整しようがないですよ。

○布施文化振興課長　私が言うのもあれなんですけど、利用される方々もそれぞれご意見がありますので、やっぱり公民館を使っている方は、やっぱり社会教育の見地からご意見をいただくんですが、コミュニティセンターをご利用の方は、社会教育という話ではなくて、本当にもう、自分たちのやりたいことをやるというような形で、ちょっと議論が噛み合わないときがありますので、やっぱり利害調整が難しい。

○早川委員　だけど、結果的には全く同じことなんですけど。

○稲垣部会長　今回、まさに公民館と隣接しているので、なおさらはっきりしていきたいという。普通、公民館ってもっと違うところにありますもんね。だから、まだわからないけど。いいご指摘ですね。

他にご意見はございませんか。今のご意見ぐらいで、終わりでもよろしいですか。

(なし)

○稲垣部会長　事務局にまとめていただきました。「自主事業の実施について、大いに評価できる。引き続き自主事業の取り組みに期待したい。」「地域的に高齢化している現状があり、システム予約以外の方法の周知を図られたい。」「隣接する公民館と調整し、競合しないような自主事業のあり方を検討し、実施に努められたい。」などがございました。調整するだけなら意味があっても、そもそも基本的なあり方がとなるとなかなか難しい。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長　あと、文言はまた、事務局と私のほうで調整します。よろしくお願ひします。

それでは、総合評価について、ご審議願ひます。所管課からご説明をお願いいたします。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　では、総合評価についてご説明いたします。資料の7-1をご覧ください。では、資料7-1「指定管理者総合評価資料」でございませう。

「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」につきましてはご覧のとおりとなっております。次に、「(2) 利用状況」ですが、こちらは、指定期間当初の平成23年度からの推移について表にまとめたものでございませう。まず、「①利用者数」ですが、こちらの表からは、休館した平成26年度を除きまして、各年度とも「利用者数合計(A)」が指定期間当初に設定した「計画数(B)」を上回っております。ただし、利用者数は年々減少傾向にあるという状況でございませう。また、「②稼働率」につきましても、実績につきましては、各年度とも計画上の稼働率を上回っておりますが、減少もしくは横ばいという状況になっております。

次に「3 利用者意見への対応状況」につきましては、ご覧のとおりでございませうけども、予約方法、手続が不便だというご意見につきましては、手続について利用者にわかりやすく丁寧な説明を行うよう、施設にお願いしているところでございませう。また、駐車場が少ないというご意見につきましても、先ほど申し上げましたように、ご理解いただけるようにご説明をしたり、施設利用者以外の駐車がないよう、警備員の巡回を強化したり、

あとは、公共交通機関の利用の呼びかけを行っているというところでございます。

次に、2ページをご覧ください。まず、「4 収支状況」ですが、まず、「(1) 過年度の収入・支出状況」です。初めに、26年度につきましては、先ほども申し上げましたけれども、5か月間の休館の影響で、利用料金、収入及び自主事業収入につきましては、実績、達成率とも前年度までの状況には至りませんでした。次に、指定管理委託料につきましては、消費税の増税分や電気料、ガス料金などの値上げの影響により、前年に比べ増額となっております。利用料金収入につきましては、24年度に増加したものの減少しております。次に、支出については、各年度とも経費の削減に努め、当初の計画よりも支出を抑えております。こちらの表の最後の「収支」につきましては、各年度の収支の差額としては、黒字という状況になっております。次に、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」についてですが、こちらは、人件費、事務費などの抑制、光熱水費の節減や再委託における入札の実施を通して、支出の削減に努めております。

続きまして、資料7-2「指定管理者総合評価シート」をご覧ください。まず、1ページ「1 基本情報」につきましてはご覧のとおりでございます。

次に、「2 総合評価」、「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」ですが、まず、「1 市民の平等な利用の確保 施設の適正な管理 その他市長が定める基準」につきましてはA評価としております。また、2ページでございますけれども、「2 サービスの向上」、「3 施設の効用の発揮 施設管理能力」、「4 管理経費の縮減」につきましても、おおむね事業計画どおりの実施、成果が認められたということで、全てA評価としております。これを踏まえて、最後に総合評価ということで、概ね事業計画どおりの実績、成果が認められたということで、Aという評価をいたしました。以上でございます。

○稲垣部会長 ありがとうございます。

総合評価につきまして評価案が示されましたが、この市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆さんから意見をお聞きしたいと思います。質問でも。

○早川委員 一般論ですけど、先ほどからLEDを使ってコストを下げたとありますが、LEDの初期投資コストは誰が出しているんですか。

○稲垣部会長 LEDは小破修繕、電球の取り換え。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 電球は小破修繕です。

○早川委員 だけど、高いでしょう。

○潮来委員 高いです。

○早川委員 だから、誰がというのは、この支出の中に入っているんですか、それとも、千葉市なんですか。

○三浦若葉区地域づくり支援室長 いえ、千葉市ではないです。

○稲垣部会長 管理者が負担して、自分の費用で取り替えると。

○早川委員 いや、いいんです。だから、それなら、まさに投資の効果が出ているということですよ。ただ、委託料の中に入っていれば、元々かかっちゃっていて、それだけ取り出して採算をとったら、前のほうがずっといいかもわからないよね、という意味の質問なんです。民間ではそう考えますけど、役所のほうは委託料の中に入ってしまったら、払う電気料が減れば効率化になったと、こう言うんですけど。民間の場合は、電気代を取り替える工事費を含めて、その償却費用と減った電気料と比べて、儲かったか儲か

らないか、効率化になったかとかと、こう判断しますよと。だけど、この場合は、電気代が減っているんですから、それでいいというふうに思います。変なことを聞いてすみません。

○稲垣部会長　今の総合評価に対して。これは、過去、23年から今までの4年間の総合評価ですよ。年度評価の合計みたいなものですから。新しい意見や質疑はないということでもよろしいでしょうか。まとめると、いわゆるAの評価でもよろしいということ。

(異議なし)

○稲垣部会長　次に、次期指定管理者選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆様から忌憚のないご意見をお聞きしたいと思いますが、何かございましたら。さっきと同じようなことになるんですけど。

○金子委員　やっぱり地域で高齢化が進んでいるということですので、そのあたりも踏まえて、どのようなニーズがあるのかというのをしっかり捉えて、事業を計画していただければいいのではないかなと。じりじりと達成率が下がってきているというのが、達成率の設定の仕方にポイントがあるのかもしれないんですが、何となく横ばい、じりじりと下がってきているような雰囲気もありますので。やっぱり加齢とともにそこまで出ていく人が少なくなってくるというところもあるのかもしれないので、そのあたりの働きかけも含めて、どういう事業をやったら地域が活性化するかという観点から計画を練っていくような、そういう取組みを求めたいなと思っています。

○稲垣部会長　わかりました、というご意見。他には。

○鏡委員　この利用者意見のところの、駐車場が、23年は不法駐車で、24年が駐車場少ない。で、26年ということなんですが、これ、具体的に改善する方法ってあるんですか。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　今のところは周辺に市有地もありませんし。

○潮来委員　2階建てか何かにすればいいんだけど、お金がかかりますもんね。

○稲垣部会長　だから、さっきのトイレよりもっと難しいですよ。

○早川委員　ただ、前はモノレール寄りの場所を借り上げて、あそこへ多少停められたんですよ。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　あそこは借り上げてはいないんですけども。

○早川委員　借り上げじゃなくて、勝手に入れて。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　あの消防の跡地のところは、はい、入れられました。

○早川委員　そういうのは、考えられるとすればそれしかないですよ。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　でも、今もう、別に店舗が建っていますので。

○早川委員　そうですか。

○鏡委員　だから、例えば多分、近隣でその民間の、よく時間で貸すような駐車場が進出していますよね。これ、慢性的に少ないんだったら、そういうところも出てくるかもしれないんだけど、ちょっとそういうことも期待できないとなると、行政で何とかしなきゃいけないのかなというふうに思うんですけども。対応策がないとなると、これ、また、同じようなことを言われ続けるんだろうなというふうに思います。

○稲垣部会長　これ、要望する一方ですよ。

○金子委員　これは、駐車場が少ないというのは、恒常的に、平日とかも含めて、こういう不満が出ているのか、あるいは土日に関わらずに何かちょっとしたイベントが行われるときにピンポイントで少ないという意見が毎回出てくるのか、どちらかによってもまた対応策って異なってきますよね。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　ちょっと調査の時点が古い23年度になるんですけども、そのときに交通量調査をした時点では、駐車場は、多少、1、2台は渋滞するけれども、それほど不足はないという結果が市で出ておまして、それを踏まえても、駐車場の増設は必要がないという判断をしているところです。

突発的に、大きなイベントとかコンサートをやった場合に、渋滞や違法駐車等が発生するのではないかとというふうに考えられておまして、通常の利用の中では、余り駐車場は、何とか回せる範囲で収まっているのではないかとというふうには考えています。

○鏡委員　ピンポイントだとすると、民間とか、あとは一時的に便宜を図っていただくようなことを、周りに協力いただいてやるという方法もあるかもしれませんね。まあ、これちょっと具体的にそれが可能かどうかわかりませんが、ちょっと、これ、すごくここが気になるので、何か対応がもし取れるのであれば、その試案をお考えになった上で、指定管理業務に余り支障がないような形で進められるといいかなという考えなんですけど。大変そこは無責任だったら申し訳ないんですけど。ただ、その点はちょっと、利用者の声を受けとめて、ちゃんとお願ひしたいというふうに思っております。

○稲垣部会長　そのほかご意見ございましたら。よろしいですか。

(なし)

○稲垣部会長　それではまとめていただいて。

1つは、「地域が高齢化していることもあり、ニーズをしっかりと捉えて、どのような事業が有効か計画も含め検討されたい。」、2つ目は「駐車場の利用についての意見に対し、研究するなど対応に努められたい。」。ですから、また、年に1回だけ駐車場が足りないからその時だけ借りる、というわけにはいかないんでしょうから。

どのぐらいそういう駐車場が足りないんでしょうか。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　周辺の自治会からも駐車場がちょっと足りないの、コミュニティセンターの先のところに緑地があるので、その駐禁を解除してくれみたいな話もあって、警察に行ったところ、最初から駐禁じゃなかったみたいな話もありまして、道路上に堂々と停めていいですよというのなかなかこちらとしても言えないです。かといって、千城台駅の反対側の商業施設に、じゃあ、駐車場がいっぱいありますから停めてくださいともちょっと。

○潮来委員　それは言えないですね。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　ええ。知っている方は、ということだと思んですけど。なかなかそこは対応が非常に難しい。現状では。

○潮来委員　設備が増やせないとなれば、民間のコインパーキングか何かを利用してもらって、その時間分は負担しますよとか、そういう制度が取れるかどうかですよね。それで、そのお金が対応できるかどうか。

○三浦若葉区地域づくり支援室長　コインパーキング自体もほとんどないです。

○潮来委員　ないんですか。

○稲垣部会長　　ないですね、住宅街ですからね。結局、よくお花見なんか、その時だけ近くの空き地を借りて停めさせてくれるとか、なんかよくあるじゃないですか。何か行事のときだけ、ちょっと借りるといふ、そういうやり方ができるかどうかというぐらいですよ。要望としては、今のご意見でよろしいですかね。

（異議なし）

○稲垣部会長　　文言の詳細については、事務局とまとめるということでよろしくお願ひします。では、所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、次期指定管理者の選定の際に十分に反映していただきたいと思ひます。

それでは、5分間休憩いたします。

（休 憩）

○稲垣部会長　　おそろいになりましたので、始めさせていただきます。

○佐久間市民総務課長補佐　　ここで事務局職員の入れ替えを行いましたので、改めて紹介させていただきます。

市民自治推進部長の原でございます。

千葉市路外駐車を所管します地域安全課長の濱野でございます。

よろしくお願ひいたします。

○稲垣部会長　　それでは、千葉市路外駐車の年度評価について、施設所管課からご説明をお願いします。

○濱野地域安全課長　　それでは、26年度の路外駐車の年度評価について施設所管課からご説明いたします。資料8-1「平成26年度指定管理者評価シート」の1ページをご覧ください。「1 基本情報」でございます。施設名は千葉市栄町立体駐車場及び千葉市中央立体駐車場です。指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日の5年間でございます。

「2 管理運営の実績」をご覧ください。「(1) 主な実施事業」につきましては、記載のとおりでございます。「(2) 利用状況」ですが、こちらは駐車場ごとに実績を記載してございます。まず、栄町立体駐車場の四輪自動車につきましては、4万4,180台の利用があり、うち定期契約台数が1,117台となりました。また、平成24年度から設置いたしました自動二輪車につきましては、1,327台の利用がございました。次に、中央立体駐車場ですが、1万1,915台の利用があり、うち、定期契約台数は196台となりました。前年比や目標達成率等につきましては、記載のとおりでございます。また、修正回転率でございますが、これは各駐車場における1日の満車状態に換算した時間数であり、毎年、地方公営企業に関する決算状況調査におきまして、総務省に提出している数値を参考にしております。計算式、数値は記載のとおりでございます。2ページに移りまして、「(3) 収支状況」でございますが、こちらは、合計と駐車場ごとで記載しております。また、参考といたしまして、各駐車場間で収益の余剰分を補填しなかった場合についても記載しております。合計欄をご覧ください。「③収支実績」におきまして174万円の赤字が出ておりますが、年度協定におきまして、市からの委託料がゼロとなっていることから、この部分につきましては、指定管理者である共同企業体からの補填で対応しております。駐車場ごとの収支決算状況を申し上げますと、まず、栄町立体駐車場におきましては、黒字分を中央立体駐車場へ補填しているため、収支はゼロ円となっております。3

ページの中央立体駐車場は、栄町立体駐車場からの黒字分を補填した場合でも、なお174万円の赤字となっております。3ページ下段と4ページ上段は、栄町と中央立体駐車場、単体での収支状況ですが、栄町立体駐車場は802万円の黒字、中央立体駐車場は976万円の赤字となっております。次の「(4) 指定管理者が行った処分の件数」から「(6) 情報公開の状況」につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、5ページの「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」のうち、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」ですが、本アンケートは平成27年2月10日から3月1日までの約3週間、各駐車場にアンケートボックスを設置いたしまして実施したものでございます。現在の料金体系である昼夜分離料金につきまして、栄町立体駐車場におきましては、110件中25件がわからない、67件がはっきりしないという結果でありました。時間貸しで、昼夜の切り替え時間を待たず利用の場合も、ご利用者の想定以上の料金が発生してしまう可能性もあることから、利用者にはわかりやすい料金設定が必要であると考えております。その他、意見といたしましては、「いつも良くしてくれて有難い」、「従業員が駐車券を入れてくれて、空いている場所を明確に案内してくれるので利用しやすい」などの回答をいただき、全体としてもほぼ良好な回答が得られました。なお、今年の2月に発生いたしました車上荒らし等の影響から、防犯対策を望む声もございましたが、また指定管理者におきましてもその必要性を感じていたこともございまして、従前から出入りに設置している防犯カメラ2台に加えまして、今年度新たにリース契約によりまして、駐車場内に5台、裏口付近に1台、エレベーター内に1台の合計7台を追加設置いたしました。侵入経路等、全てが撮影できるように配置してございます。また、裏口付近にはLED防犯灯の設置も行っております。次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」はございませんでした。

続きまして、「4 指定管理者による自己評価」をご覧ください。アンケート結果にもございますように、係員の対応状況、清掃状況につきましては、苦情などはございませんでした。運営面でもおおむね満足を得られたところがございます。収入面では、平成26年2月に新規導入しました定期複数台契約割引の効果が出てきておりまして、各駐車場の定期契約収入は、栄町立体駐車場で前年比約200万円増、中央立体駐車場では前年比約50万円増となっております。また、栄町立体駐車場の自動二輪につきましても、有人管理と、それから屋内に駐車できるというメリットなどによりまして、増加傾向となっております。前年度と比較しますと、全体的に増加傾向にございます。なお、周辺駐車場との時間貸し料金には依然開きがございしますが、安全面や屋内という独自色を評価いたしまして、長時間利用いただける利用者を取り込めるよう努力して参りたいとこのこととでございます。

続きまして、6ページ、「5 市による評価」をご覧ください。収支の黒字に向けた取組み策といたしまして、平成26年2月から定期利用の月額を、従前の2万円から、10台以上の定期利用契約者につきまして、栄町立体駐車場では1万7千円、中央立体駐車場では1万9千円とする定期利用者増加への工夫を行いました。これによりまして、指定管理者の自己評価にもございますが、確実に効果が表れ、定期利用者が前年度比114.7%となっております。また、従業員の利用者への対応、施設の維持管理業務におきましても、定期的な保守点検、緊急的な修繕への迅速な対応など、指定管理業務につきましては、おおむね良好に行われておりました。その反面、利用料金収入につきましては、前年

度との比較では増加傾向ではございますが、計画値と比較しますと、両駐車場とも、計画値に届かず、依然、収支が赤字になっていることなど、総合的に勘案いたしまして、3段階評価の中間でございますAといたしました。

なお、昨年度の評価の際にご指摘いただきましたとおり、次期指定管理に向けて、中央立体駐車場につきましては用途廃止する方向で現在検討しております。栄町立体駐車場につきましては料金体系の見直しを図り、さらなる利益の増加、市への利益の還元を図っていきたいと考えております。

6ページ以降に、この評価の基となる項目の詳細を記載しております。うち2項目ほどが、評価項目としてございますが、指定管理者に起因しない外部的な要因により、平成26年度には評価することが適切でないと考えられますことから、こちらは今回の評価の対象外として、評価欄をバーとして記載してございます。それ以外のほとんどの項目におきまして、3段階中真ん中の2点の評価ですが、3点及び1点の評価理由についてご説明申し上げます。まず、評価3点につきましては、8ページ中段下でございます「備品の管理、清掃、警備」における「会議室の鍵の受渡」につきまして、「備考」欄に記載してございますとおり、昨年度と同様に、指定管理者の係員が率先して地域住民である会議室利用者へ鍵の受け渡しをすることで、利用者の負担を減らすだけでなく、施錠を係員が確認することで防犯面からも効果があるとして判断いたしまして、3点としております。また、9ページ上段の「(4) 管理経費の縮減」の「支出見積の妥当性」についてですが、事務費の抑制を中心とした経費の削減を図り、対計画比94.8%となったため、3点としております。その下の「(4) 管理経費の縮減」の「収入状況」についてですが、評価シート「2 管理運営の実績」で申し上げましたとおり、対計画比90.5%となったことから、1点としております。

その他、評価対象項目の合計点数は137点、平均点が2.0という結果となりました。説明は以上でございます。

○稲垣部会長　　ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況に関して意見交換を行いたいと思います。先ほどと同様に、ここからの会議は非公開といたします。

傍聴人の方はいらっしゃらないですね。

では、非公開として続けさせていただきます。

それでは、指定管理者の財務状況に関して、計算書類等をもとに潮来委員からご意見をいただきたいと思います。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○稲垣部会長　　財務についてはいいですね。財務については、アマノ1社の純資産、売上高を見ると問題ないし、連結ベースで見ても全く問題ないという、こういうご意見のとおりでお願いいたします。その結果、倒産・撤退等のリスクはないと判断します。以上を本部会の意見とさせていただきます。

あと、細かい文言は事務局と私で調整をさせていただくということによろしいですか。

(異議なし)

○稲垣部会長　それでは、次に行く指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については公開をお願いします。

それでは、公開といたします。

それでは、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますか。

中央立体のあり方自体については意見があるけども、先ほどの報告でいいということで、早川委員がおっしゃっていたのはね。

○早川委員　はい。

○稲垣部会長　確かに二輪車なんか、盗難とかいろいろ多くあるから、屋内へという意味ではいいんですね。

○早川委員　いいことなんですけどね。

○稲垣部会長　うん、いいんだけどね。そういう意味では、ああいう管理で価値があるんですかね。

○早川委員　中央は満杯入れても44台でしたっけ。

○濱野地域安全課長　56台です。

○早川委員　56ですか。56で採算がとれていたら、税金がかかっていないからいいけど、民間だったらとても成り立ちません。固定資産税を払ったら赤字になっちゃいますから。

○稲垣部会長　確か料金がわかりにくいつちやわかりにくい、どこでもわかりにくいんですけどね、何時から何時まで、やっぱりよく読まないで、きめ細かくなってくるとそれだけ難しいんですね。何と何までは簡単なんだけど、その何時から何時までとか、時間帯によって細かいじゃないですか。あれ、わかりやすくしろというのと、逆に単純化しないといけないですね。

○潮来委員　それはそれで難しいんでしょうね。

○稲垣部会長　単純化すると却って困るんですもんね。やっぱり一定時間、これが最大限だとか、いろんな決め方がありますもんね。

○濱野地域安全課長　先ほど申しました中央立体廃止、用途廃止ということで今検討しているんですけども、そうしますと、今、機械式ですので、中央立体のほうは人がいないとどうしてもまずいと。これがなくなりますと、栄町の駐車場だけですと、今も機械式の警備といいますか、入出庫が機械式になっておりますので、ですから、料金体系も少し、今ご指摘いただいたように、簡単に、今まで時間帯で2つの料金体系を設けていたんですけども、今度は一本で、入庫から何時間でいくらというような単純な料金体系をちょっと今検討しておりますので。

○稲垣部会長　それで、もう何か解消されるわけですね。

○濱野地域安全課長　はい。

○稲垣部会長　わかりました。特にこれについて皆さんからご質問、ご異議されたいこと、ご意見、特にないですね。

○鏡委員　きちんとしていただいているようなので、引き続きそういう姿勢を持って、本当にこの駐車場が、公、行政が持っている必要があるかどうかという視点で、そういう

視点で恐らく中央の結論が出ているんじゃないかなと思いますので。そこは引き続き検討を重ねていただいて。

○稲垣部会長 特別には、ご意見ないということですかね。

部会としては、中央立体の廃止の方向で検討されるというので、それは望ましいと考えるということで、そういう意見でよろしいですね。

(異議なし)

○稲垣部会長 そういうことにさせていただきます。それから、文言等については私と事務局で調整するというのでお願いします。

では、次に、総合評価についてご審議いただきます。所管課からお願いします。

○濱野地域振興課長 それでは、総合評価についてご説明いたします。

資料9-1「指定管理者総合評価資料」1ページをご覧ください。「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」につきましては記載のとおりでございます。次に、「(2) 利用状況」の「①利用台数(四輪)」につきましてですが、指定期間当初からの推移について表にまとめてございます。表からは、周辺に安価なコインパーキングが増えているなど、利用台数が減少傾向でありましたが、平成24年度の最大料金の設定を行いまして、平成26年度には栄町立体駐車場での最大料金の引き下げを行ったことで、栄町立体駐車場では減少傾向に歯止めをかけることができ、平成26年度は増加に転じております。指定期間内での計画値との比較につきましては、指定管理開始時よりは上昇傾向でございますが、計画値には届いていないという状況でございます。「②定期契約台数」ですが、こちらにつきましても減少傾向でありましたが、平成26年2月から定期利用月額の見直しを行った結果、上昇傾向に転じてきていることは評価できるところであります。また、指定管理者によりますと、問い合わせも増えており、今後の増加も見込まれるとのことでございます。指定期間内での計画値との比較につきましては、指定管理開始時よりは上昇しておりますが、やはり計画値には届いていない状況でございます。「③修正回転率」につきましては、利用者の増加や最大料金設定による長時間利用の増加などが要因となり、平成24年度に一度下がりましたが、上昇傾向でございます。2ページに移りまして、「④利用台数」、平成24年度から実施している自動二輪の利用状況についてご説明いたします。開始しました平成24年度は、計画値を高く設定し過ぎたこと、それから、認知度等が低かったことから、利用実績は計画値の12%程度でありましたが、周辺施設等へのポスター掲示やチラシの配布などを実施いたしまして、利用促進効果があらわれ始めております。平成24年度が385台の実績でしたが、平成26年度では1,327台となっております。徐々に効果が出てきております。引き続き利用促進方策を実施しておる状況でございます。自動二輪の修正回転率につきましては、⑤の表のとおりとなっております。

次に、「3 利用者意見への対応状況」でございますが、平成23年度、25年度、26年度に意見がございました利用料金に関する内容につきまして、その都度、指定管理者と市で協議を行い、周辺駐車場の相場等も踏まえ、可能な限り要望に応えるよう検討しております。また、平成24年度に意見がございました「従業員の名札が見えづらい。」など、従業員等への苦情に対しましては、その都度、改善を図っております。また、平成24、26年度に意見のございました設備・運営への意見に対しましては、可能な限り要望

に応えるよう対応しておるところでございます。

次に、3ページ「4 収支状況」の「(1) 過年度の収入・支出状況」ですが、両駐車場の合計では赤字となっておりますが、実際には中央立体駐車場のみが赤字でございます。その赤字につきましては、栄町立体駐車場の黒字、それから指定管理者であります共同企業体からの持ち出しにより補填しております。栄町立体駐車場と中央立体駐車場の過去4年間の収支状況の内訳は、4ページの(2)及び5ページ(3)のとおりでございます。次に、5ページ下段の(4)をご覧ください。この表は、両駐車場間での相殺、赤字を共同企業体が補填しなかった場合の実質の収支状況となっております。栄町立体駐車場につきましては、定期契約者の増加による利用料金の収入の増加、それから人件費・事務費などの抑制、光熱水費の節減などの経費削減にいろいろ効果が表れておりまして、平成26年度の黒字は、指定管理開始当初と比較いたしまして、165%となっていることは評価できるところでございます。一方、中央立体駐車場につきましては、定期契約者の増加による利用料金収入の増加はございますが、単体での赤字は毎年1千万円程度と非常に厳しい状況となっております。次に、6ページに移りまして、「(5) 管理経費の縮減に係る取組み」についてでございますが、先ほどご説明いたしましたとおり、定期契約者の拡大のため、平成26年2月から10台以上の定期契約者への割引を実施し、収入の増加を図って参りました。また、平成24年4月から開始した自動二輪利用者の増加を図るため、周辺施設へのポスター掲示やチラシの配布など、積極的なPRを行うなど、利用率向上の取組みによる収入の増加も図ったところでございます。また、人件費・事務費などの抑制、照明のLED化による電気代削減や毎月の節電効果を表にまとめ、従業員の目につきやすいところに掲示することで、節電意識を高めるなど、支出の削減に努めておりました。

次に、資料9-2「指定管理者総合評価シート」1ページをご覧ください。「1 基本情報」につきましてはご覧のとおりでございます。次に、「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」ですが、評価をSとしたものについてご説明いたします。まず、評価項目「3 施設の効用の発揮・施設管理能力」の「(8) 備品の管理、清掃、警備」についてでございますが、中央立体駐車場内の会議室の鍵の管理につきましては、管理運営の基準で、指定管理者は使用者に鍵の受け渡しをすることとなっておりますが、利用者の利便性、防犯上の観点から、指定管理開始当初から指定管理者が開閉を直接行うということを継続して実施しているため、評価をSといたしました。

次に、評価をBとしたものについてご説明いたします。評価項目「4 管理経費の縮減」の「(2) 収入見積の妥当性」につきましては、指定管理開始当初から利用料金収入が計画値に届いていないということから、評価をBといたしました。

最後に、総合評価ですが、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められたところでございます。Aという判断をさせていただきました。

以上でございます。

○稲垣部会長 ありがとうございます。

所管からご説明いただきました、路外駐車場の総合評価につきまして、評価案が示されましたが、まず初めに、市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様からご意見をお聞きしたいと思います。ご質問も含めて、何かございましたら、お願いします。

質問というか、あれですけど、二輪車が増えたとはいっても、365で割ったら1日何

台なんですか、実際。1,000台ってすごいようだけど、300ぐらいかな。ここ2,3台平均じゃないですか。いや、費用として考えると、やっぱり何となく問題ないかな。個人にちょっと預けてやっているような。

○濱野地域安全課長 これにつきましては、引き続き、指定管理者もいろいろなPRをして利用者増につなげる取組みも一生懸命やっていますので、その点は引き続きですね。

○稲垣部会長 これからさらに伸びるのを期待するしかないんですね。

○濱野地域安全課長 はい。

○稲垣部会長 委員の皆様、ご質問とか。総合評価、過去の4年間の総合評価なので、余り変わった質問、意見はない、今まで出た話ということで。

○鏡委員 意見だけちょっと。栄町の駐車場については、これまでいろんな要因で、近隣の民間の安い駐車場がありながらも、26年度に改善したということは、かなり評価が値するんじゃないかなと思います。ただ、これが一時的なものなのか、この後も続くのかというのは、やはりこの27年が大変重要な年になると思いますので、ぜひそこは注視していただいて、恐らく、今の状況であるならば、見直しというのは、全体の施設の見直しというのが余り近い将来ではないのかもしれないですけども。ただ、その先を見たときに、市の駐車場として本当にここに位置付けるのがいいのかどうかというのも冷静に議論していく必要があるかなと思います。

○稲垣部会長 中央立体だけでなく栄町も存在意義を考える。

○鏡委員 そうですね。

○早川委員 今さら先のことを市のほうに言ってもしょうがないと思うんですが、今ご発言なさったとおり、栄町地域はこれから新しい建物が建ち始めますから、今の安い駐車場というのはどんどん減っていく傾向に必ずなるはずなので、この役割というのは非常に重要なものになると思うんです。建て替えというか、施設の作り替えも含めて、将来大変期待されるんじゃないかなというふうに私は思っています。

○稲垣部会長 一定のところまで沈み込まないと、客が来ないというか。一定のところまで行ったらまた再開発ってなりますんで、今はなかなか、淀んでいるという感じですかね。あれがビル街というかマンション街になると、マンションを自腹で持つのと単価的にどっちが安いのかというのも考えますよね。マンションでは一応、一定の数を作るでしょうけども。

○濱野地域安全課長 今回の中央立体につきましては、廃止の方向ということで検討させていただいていますけども、栄町につきましても、次期指定管理の中で、再度あり方について検討しようということで考えております。

○稲垣部会長 中央立体はもう決めたけどということですよ。はい、どうぞ。

○原市民自治推進部長 今回、需給調査をしっかりとしまして、実際、栄町の場合は、早川先生のおっしゃるとおり、今やはりビルなんかを壊した平面によるパーキングが約80～85%程度を占める場所なんですね。ですから、そこがどう開発されるかという状況によって、また、わからなくなるという状況もあります。実際に今そういうお話もいくつか入っております。また、近隣では、千葉駅の建て替えというような状況も出て参りますので、そういう状況を今後もう少し見させていただいた上で、この施設を今後どうしていくかというのは考えて参りたいということで今、検討を詰めている段階です。

○稲垣部会長　　というのは、今はあちこち空いていますけど、ビルが建ってくると減ってきて、逆に利用者が増えるという。一応、千葉駅まで歩ける程度の距離ですからね。

○原市民自治推進部長　　結構そういう需要がまだあるようなので、指定管理者のほうもその辺の需要を取り込もうという形も今画策しています。

○稲垣部会長　　こんな程度のご意見でよろしいですか。評価の妥当性、Aという、それで、委員の皆さんのご意見は特にないと。Sもある。どっちにしても結論はAということではよろしいですか。それ自体はよろしいということ。

（異議なし）

○稲垣部会長　　それでは、次に、サービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆さんから、忌憚のないご意見をお聞きしたいと思います。

今、Aの評価の前にいろんなご意見が出たので、それをまとめてということではよろしいですか。

（異議なし）

○稲垣部会長　　そうすると、「中央立体については廃止の方向で検討されたい。」と、「二輪車の駐車台数の増加の取組みがされるよう検討されたい。」「今年度の状況に注視し、今後の駐車場のあり方自体を検討されたい。」と、この程度のまとめでよろしいですか。

（異議なし）

○稲垣部会長　　ありがとうございました。

では、この文言もまた、私どもと事務局で調整させていただきたいと思います。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、次期指定管理者の選定の際に十分反映していただくようお願いいたします。

以上で、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価についての審議は終了します。

それでは、次に、議題2「その他」についてですが、事務局から何かございましたら、お願いします。

○山根市民総務課長　　それでは、今後の予定についてご説明をさせていただきます。

本日、委員の皆様に取りまとめていただきましたご意見等につきましては、稲垣部会長さんから選定評価委員会の横山会長さんにご報告をいただき、その後、横山会長さんから市長宛てに、委員会の意見として答申をしていただくという流れになります。

この委員会の答申を受けまして、各施設所管課が、委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、9月上旬に市ホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

また、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同様に市ホームページにて公表することとなります。その公表の時期等が決まり次第、委員の皆様にはご報告させていただきます。

なお、今回の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

○稲垣部会長　では、皆様方のご協力によりまして、本日の議事は、全て終了しました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○佐久間市民総務課長補佐　長時間にわたりまして、ご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第2回市民・文化部会を閉会させていただきます。

お忙しいところ何度もお集まりいただき、大変恐縮ですが、次回の第3回市民・文化部会日程等につきましては、後日改めて事務局よりご連絡をいたしますので、よろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。